

2004年8月24日

県民の政治意識 第19回モニター調査 報告書

(2004年8月15日～16日調査)

調査の設計	1
結果の概要	3
単純集計	6



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610
<http://www.nagano-yoron.or.jp>

調査の設計

調査の目的

第19回「県民の政治意識 - モニター調査」は、7月の参院選から1カ月後になる。参院選で自民党は改選議席を下回る審判を下されたが、小泉純一郎首相は「敗北」を否定し、9月には内閣改造を予定し、政権の安定化をめざそうという時期である。

景気回復の裾野の広がりが指摘される一方で、自衛隊が派遣されたイラクでは戦闘状態の混乱が止まず、北朝鮮の拉致被害者とされる行方不明者の調査は進まず、日本外交が抱える難問は、ともに出口を見出せない状況に直面している。

今後3年間、衆参の両院選挙が政治日程にのぼらない“空白期”に入るが、道路公団、郵政の民営化など小泉内閣の改革政策の詰めとともに、憲法見直しが最大の問題として、政治の舞台に持ち出されようとしている。

世論の動向がこれまでになく注視される中で、県民が政治をどう見守り、どのような方向をめざそうとしているのか、協会モニターを通じて探る。

調査の設計

調査方法 当協会の登録モニターに事前に調査票を郵送し、電話で回答を聞く方式（一部はファクスと郵送で回答）

【モニター～継続的な調査対象者】

1995年6月の参院選直前、県下の満20歳以上の1000人を対象に、政治意識調査を実施。その際、追跡調査に協力できるという人たち678人を対象に、選挙直後の同年7月に「参院選の投票行動」調査を行った。

これを「第1回モニター調査」と位置付け、それ以降は男女別、年代別、選挙区別などの比率が“県下の有権者の縮図”となるようにサンプル対象者を選定して、96年2月に第2回調査を行い、それ以降は半年間隔で年2回ずつ、定期的に続行している。この間、モニターは若干補正し、現在の登録数は500人。

調査時期 2004年8月15日～16日

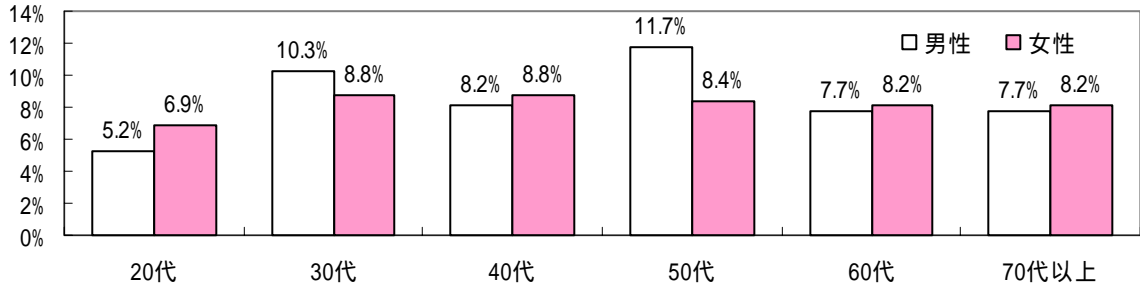
有効回収数（率） 478人（回収率95.6% = 男性243人 女性235人）

<注> 報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

回収サンプルの内訳

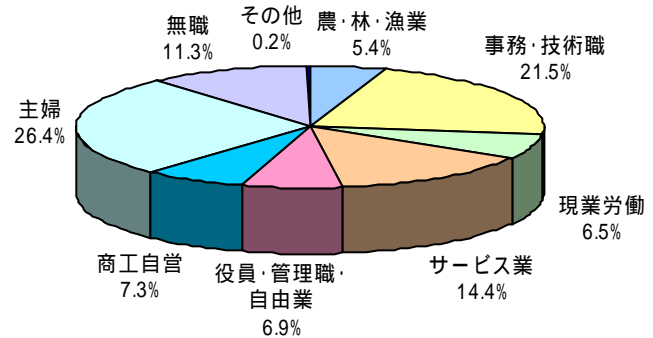
【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
全体	478	58	91	81	96	76	76
	100.0%	12.1%	19.0%	16.9%	20.1%	15.9%	15.9%
男性	243	25	49	39	56	37	37
	50.8%	5.2%	10.3%	8.2%	11.7%	7.7%	7.7%
女性	235	33	42	42	40	39	39
	49.2%	6.9%	8.8%	8.8%	8.4%	8.2%	8.2%



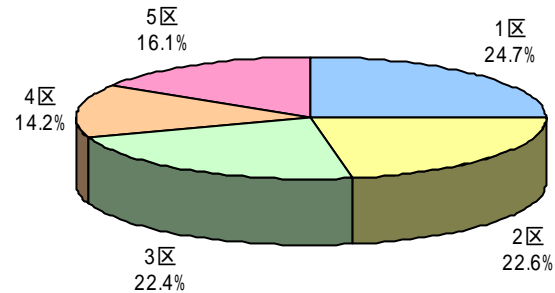
【職業】

農・林・漁業	26	5.4%
事務・技術職	103	21.5%
現業労働	31	6.5%
サービス業	69	14.4%
役員・管理職・自由業	33	6.9%
商工自営	35	7.3%
主婦	126	26.4%
無職	54	11.3%
その他	1	0.2%



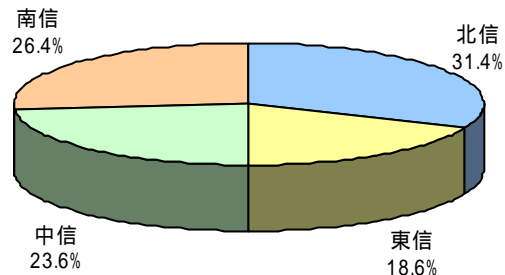
【選挙区】

1区	118	24.7%
2区	108	22.6%
3区	107	22.4%
4区	68	14.2%
5区	77	16.1%



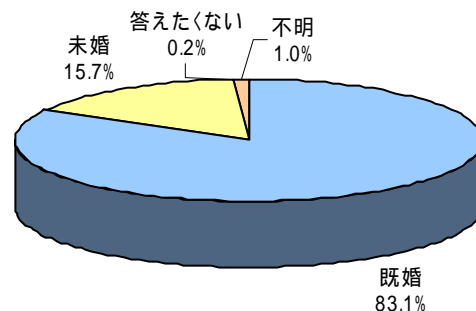
【地域】

北信	150	31.4%
東信	89	18.6%
中信	113	23.6%
南信	126	26.4%



【結婚の有無】

既婚	397	83.1%
未婚	75	15.7%
答えたくない	1	0.2%
不明	5	1.0%



結果の概要

小泉内閣に対する評価

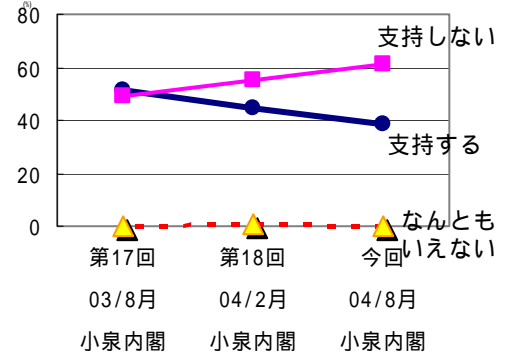
“小泉離れ”加速 - 内閣支持40%割り込む

今の国政に与党の自民、公明両党の支持層でも「不満足」が過半数を占める中で、小泉内閣を「支持する」は38.3%、「支持しない」は61.5%。前回、支持を逆転した不支持がさらに6ポイント増え、その差は倍増して20ポイント以上に広がった。

年代層のうち支持が堅かった20代で支持40% - 不支持59%と逆転し、70代以上（以下「70代」と略記）では相半ばするまでに様変わり。

与党の自民、公明両党では支持を増やしたが、無党派層では支持が23%と10ポイントの大幅減少となった。

【内閣支持率の推移】



	性別		年代別			選挙区					政党支持		
	男性	女性	20代	40代	60代	1区	2区	3区	4区	5区	民主党	自民党	支持政党なし
支持	38.3%	38.3%	39.7%	32.1%	31.6%	38.1%	38.9%	32.7%	45.6%	39.0%	11.7%	90.3%	22.6%
不支持	61.3%	61.7%	58.6%	67.9%	68.4%	61.9%	61.1%	67.3%	52.9%	61.0%	88.3%	9.7%	76.8%

支持の理由「他に人がいない」 不支持では「政策に期待できず」

支持の理由では「ほかに適当な人がいないから」がやや増えて65%のトップのまま。自民党支持層でもいちばん多い。

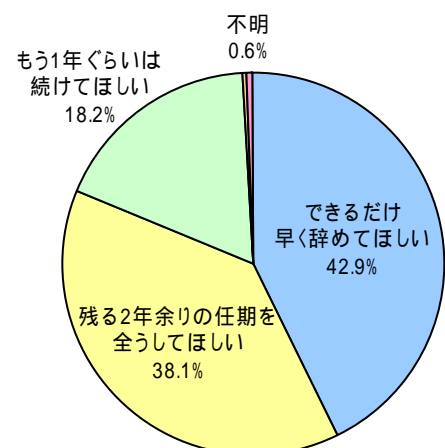
逆に、不支持の理由では「政策に期待できないから」がやや減少したが、いぜん高水準の70%台。「政治姿勢が好ましくないから」が64%に伸びた。

小泉首相の在任「早く辞任を」43% 「任期全う」を上回る

支持率の低下に伴い、小泉首相の在任について「できるだけ早く辞任を」が43%にのぼり「残り任期2年を全う」(38%)を上回った。

「首相に必要な能力、資質」でみると「国民への説明能力」が大幅に増え、1年前には上位にあった「リーダーシップ」と「政策立案能力」を一挙に越えてトップ。イラク、年金問題などの一連の首相対応に不満感が示された。

【小泉首相の在任】



政党に対する評価

民主が自民を逆転 - 小泉内閣では初めて

政党支持は民主党が 28.7% を獲得し、自民党 (23.6%) を 5 ポイント余りリード。小泉内閣が登場した後の 2001 年 8 月の第 13 回以来、連続 6 回の調査で優位を保ってきた自民党を初めて逆転した。

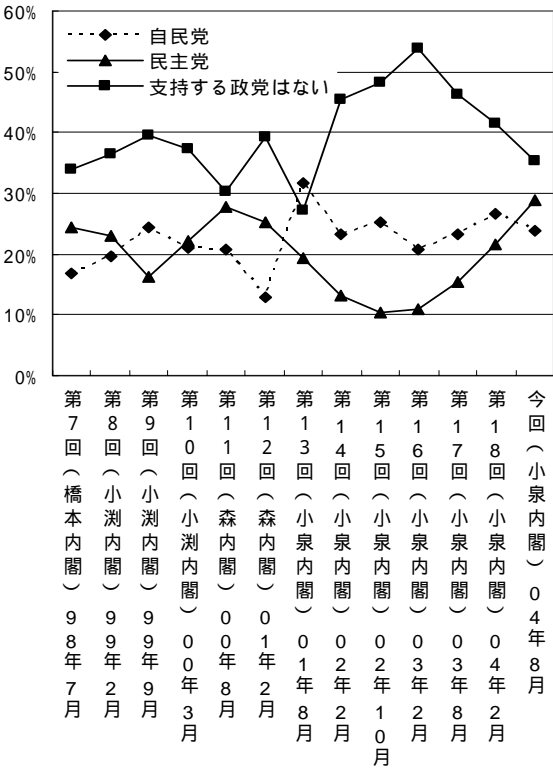
3 位は公明党の 5.0% で共産党 4.6%、社民党 2.3% の順。支持する政党なしは 35.1% と下降傾向が続く。

自民支持が優勢の女性、若い層に変化

民主党は昨年 11 月の衆院選、今年 7 月の参院選で「二大政党対立」の構図をアピールし、伸長を着実にしている。とくに、女性の自民支持 23% に対して民主 22% と急迫。それにつれて、主婦層では両党が並ぶ格好になり、党発足以来の“女性に弱い”体質は、是正の兆しが見えてきた。

自民党の支持層では、30 代では自民党 21% に対して民主党 28% と逆転。20 代でも優位は保ったものの急接近した。小泉内閣と同様に、支持が強めだった若い年代層に変化が現れ、高齢層でも前回同率だった 60 代で民主党が大きくリードする結果になった。

【政党支持の推移】



	性別		年代別			選挙区					小泉内閣	
	男性	女性	20代	40代	60代	1区	2区	3区	4区	5区	支持	不支持
民主党	35.4%	21.7%	20.7%	32.1%	40.8%	32.2%	32.4%	29.0%	26.5%	19.5%	8.7%	41.2%
自民党	23.9%	23.4%	24.1%	11.1%	28.9%	22.9%	25.9%	21.5%	26.5%	22.1%	55.7%	3.7%
支持政党なし	28.4%	42.1%	44.8%	42.0%	18.4%	33.9%	29.6%	36.4%	39.7%	39.0%	20.8%	43.9%

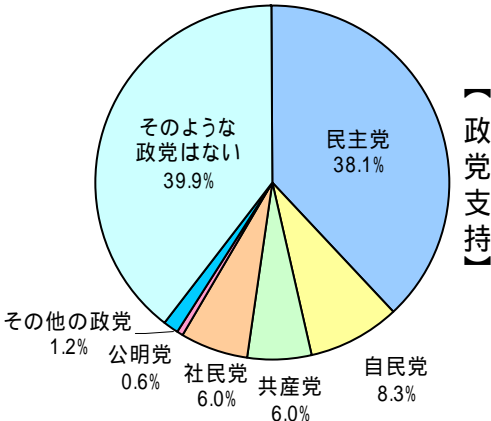
無党派層の“野党志向”が拡大

“二大政党化”の流れの中で、漸減傾向にある支持政党なし層は 35.1% とさらに減少。40 代までの若い年代層では高め傾向にあるが、過去 2 回の調査でめだった過半数はなくなった。

無党派層の評価の内容で「政治・政党への不満・不信の現れ」とする群を抜くトップは変わらない。

無党派層が次の衆院選で議席増を期待するのは「野党系」55% - 「与党系」4%。参院選前の前回調査(今年 2 月)で、投票したいのは「与党か野党か」聞いた結果(野党 31% - 与党 5%) に比べて“野党寄り”がさらに色濃くなった。

しかし、1 年前と支持政党が変わったのはモニター全体の 17% で、無党派層の中では 17% 程度と、政党支持からみた流動は少なめ。政界・政党の再編成の期待感も高くはない。



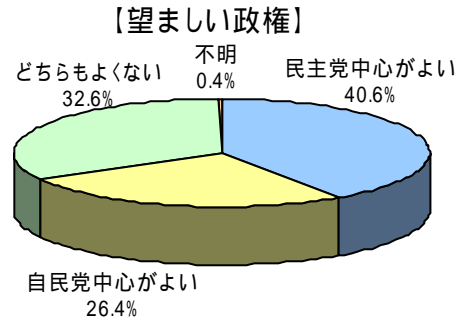
政治の方向

望ましい内閣「民主党中心」41% 「自民党中心」26%

次の衆院選の時期は「急ぐ必要はない」が半数を超したが「早い方がよい」も48%と接近。選挙で議席増を期待するのは「与党系」の21%に対して「野党系」が2倍以上の53%に達した。

これを受けるかたちで、今後期待する内閣は「民主党中心がよい」が41%、「自民党中心」が26%と“政権交代”へと流動的な方向を示す。しかし「どちらも良くない」が33%と高めになっている。

その一方で、今後の「政治・政党の再編成」については「期待する」が過半数になっているが「期待しない」が47%の僅差。この流れは、小泉内閣の3年間で小幅の変動にとどまっている。政党や内閣の支持動向が大きく揺れているが、政界そのものの組み直しの期待には、必ずしも反映されてはいない。



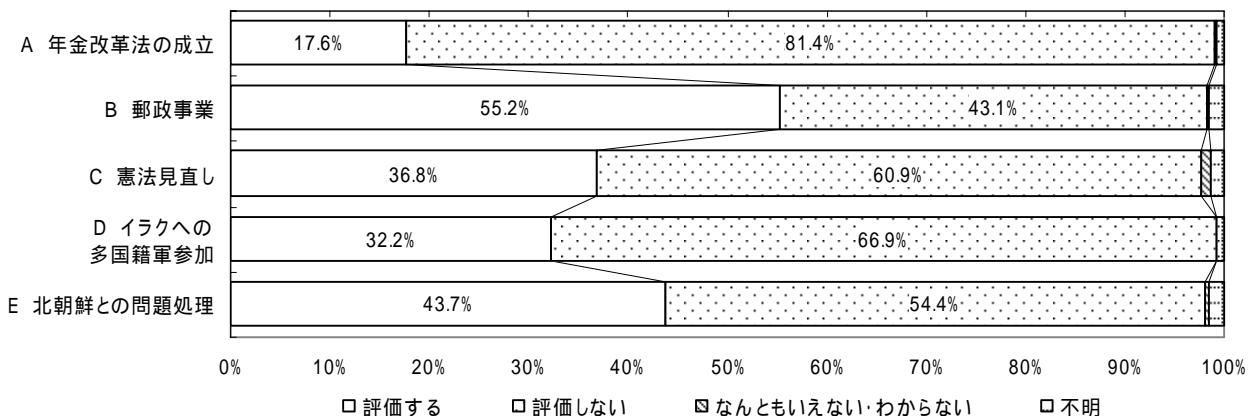
憲法見直し「評価しない」61% イラク多国籍軍に67%批判的

国政の重点課題では「景気・雇用」がトップに掲げられたが、景気回復の動きに伴い度合いは下がり、2番目の「行政・財政」が急伸してきた。次いで「福祉・医療」「安全保障・外交」「教育」と続き、順位に変化はない。

今後の主要な政治テーマである日本国憲法の見直しの動きには「評価する」が37%に対して「評価しない」は61%にのぼる。当面の政策課題の年金改革法の成立には「評価しない」が80%を突破し、国会論議の“決着”を越えて、制度の方向に対する反発が根強い。

外交の懸案のイラク多国籍軍参加に「評価しない」が67%。拉致、核などの北朝鮮問題処理には「評価する」が44%にとどまり、行き詰まり状況の打開に、冷ややかなスタンスがみえる。

【小泉内閣の懸案の取りくみ】



単純集計

問1 今回の国の政治に満足していますか

	全体	男性	女性
大いに満足	0.8%	0.8%	0.9%
どちらかといえば満足	15.7%	15.6%	15.7%
どちらかといえば不満足	58.8%	56.0%	61.7%
全く不満足	24.7%	27.6%	21.7%
なんともいえない・わからない	0.0%	0.0%	0.0%

問2 国の課題として、どれが最も重要だと思いますか

	全体	男性	女性
景気・雇用	37.7%	39.9%	35.3%
行政・財政	31.6%	31.3%	31.9%
福祉・医療	15.5%	16.5%	14.5%
安全保障・外交	7.5%	4.1%	11.1%
教育	6.9%	7.4%	6.4%
その他	0.4%	0.4%	0.4%
なんともいえない・わからない	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0.4%	0.4%	0.4%

問3 小泉内閣を支持しますか

	全体	男性	女性
支持する	38.3%	38.3%	38.3%
支持しない	61.5%	61.3%	61.7%
なんともいえない	0.2%	0.4%	0.0%

問4 支持する理由は何ですか(2つ以内)

	全体	男性	女性
ほかに適当な人がいないから	64.5%	59.1%	70.0%
首相の政治姿勢が好ましいから	25.7%	25.8%	25.6%
自民党・公明党の連立内閣だから	24.6%	28.0%	21.1%
小泉純一郎さんが首相だから	24.0%	28.0%	20.0%
政策に期待できるから	22.4%	24.7%	20.0%
自民党中心の内閣だから	19.7%	18.3%	21.1%
その他	0.5%	1.1%	0.0%
なんとなく・特に理由はない	0.0%	0.0%	0.0%

問5 支持しない理由は何ですか(2つ以内)

	全体	男性	女性
政策に期待できないから	70.1%	67.1%	73.1%
首相の政治姿勢が好ましくないから	63.9%	65.1%	62.8%
自民党・公明党の連立内閣だから	29.9%	36.9%	22.8%
自民党中心の内閣だから	18.0%	16.1%	20.0%
小泉純一郎さんが首相だから	6.5%	7.4%	5.5%
ほかに適当な人がいるから	2.0%	2.0%	2.1%
その他	1.4%	0.7%	2.1%
なんとなく・特に理由はない	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0.3%	0.7%	0.0%

問6-A 年金改革法の成立について

	全体	男性	女性
評価する	17.6%	17.7%	17.4%
評価しない	81.4%	82.3%	80.4%
なんともいえない・わからない	0.2%	0.0%	0.4%
不明	0.8%	0.0%	1.7%

問6-B 郵政事業について

	全体	男性	女性
評価する	55.2%	53.5%	57.0%
評価しない	43.1%	46.5%	39.6%
なんともいえない・わからない	0.2%	0.0%	0.4%
不明	1.5%	0.0%	3.0%

問6-C 憲法見直しについて

	全体	男性	女性
評価する	36.8%	36.6%	37.0%
評価しない	60.9%	61.3%	60.4%
なんともいえない・わからない	1.0%	1.6%	0.4%
不明	1.3%	0.4%	2.1%

問6-D イラクへの多国籍軍参加について

	全体	男性	女性
評価する	32.2%	35.0%	29.4%
評価しない	66.9%	65.0%	68.9%
なんともいえない・わからない	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0.8%	0.0%	1.7%

問6-E 北朝鮮との問題処理について

	全体	男性	女性
評価する	43.7%	42.4%	45.1%
評価しない	54.4%	57.2%	51.5%
なんともいえない・わからない	0.4%	0.0%	0.9%
不明	1.5%	0.4%	2.6%

問7-A 参院選の投票で重視したか・年金改革法の成立について

	全体	男性	女性
重視した	68.8%	68.7%	68.9%
重視しなかった	30.3%	31.3%	29.4%
なんともいえない・わからない	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0.8%	0.0%	1.7%

問7-B 参院選の投票で重視したか・郵政事業について

	全体	男性	女性
重視した	45.4%	46.9%	43.8%
重視しなかった	52.9%	52.3%	53.6%
なんともいえない・わからない	0.6%	0.8%	0.4%
不明	1.0%	0.0%	2.1%

問7-C 参院選の投票で重視したか・憲法見直しについて

	全体	男性	女性
重視した	52.3%	52.7%	51.9%
重視しなかった	45.6%	45.7%	45.5%
なんともいえない・わからない	0.8%	1.6%	0.0%
不明	1.3%	0.0%	2.6%

問7-D 参院選の投票で重視したか・イラクへの多国籍軍参加について

	全体	男性	女性
重視した	65.9%	67.5%	64.3%
重視しなかった	32.8%	32.1%	33.6%
なんともいえない・わからない	0.2%	0.4%	0.0%
不明	1.0%	0.0%	2.1%

問7-E 参院選の投票で重視したか・北朝鮮との問題処理について

	全体	男性	女性
重視した	66.3%	61.7%	71.1%
重視しなかった	32.4%	37.9%	26.8%
なんともいえない・わからない	0.0%	0.0%	0.0%
不明	1.3%	0.4%	2.1%

問8 日本の首相にはどのような能力、資質が一番必要だと思いますか

	全体	男性	女性
国民への説明能力	37.7%	38.3%	37.0%
リーダーシップ	18.4%	21.8%	14.9%
政策立案能力	17.8%	15.6%	20.0%
庶民感覚	10.0%	10.7%	9.4%
バランス感覚	8.6%	4.1%	13.2%
清潔さ	3.3%	4.5%	2.1%
人柄	1.5%	1.6%	1.3%
その他	1.5%	1.6%	1.3%
特にない	1.3%	1.6%	0.9%
なんともいえない・わからない	0.0%	0.0%	0.0%

問9 小泉純一郎首相は、いつまで首相を続けてほしいと思いますか

	全体	男性	女性
できるだけ早く	42.9%	47.3%	38.3%
辞めてほしい			
残る2年余りの任期を全うしてほしい	38.1%	34.2%	42.1%
もう1年ぐらいいは続けてほしい	18.2%	18.5%	17.9%
なんともいえない・わからない	0.2%	0.0%	0.4%
不明	0.6%	0.0%	1.3%

問10 どの政党を支持しますか

	全体	男性	女性
民主党	28.7%	35.4%	21.7%
自民党	23.6%	23.9%	23.4%
公明党	5.0%	4.1%	6.0%
共産党	4.6%	3.3%	6.0%
社民党	2.3%	4.1%	0.4%
その他の政党	0.2%	0.0%	0.4%
支持する政党はない	35.1%	28.4%	42.1%
答えたくない	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0.4%	0.8%	0.0%

問11 支持する政党のどんな点を評価し、期待していますか(2つ以内)

	全体	男性	女性
政策の現実性	37.0%	37.8%	36.0%
長期的な視点	27.6%	27.9%	27.2%
安定感・頼りがい	22.4%	19.8%	25.7%
主義主張の一貫性	19.2%	15.1%	24.3%
革新的な姿勢	17.2%	18.6%	15.4%
日本国憲法への姿勢	14.0%	12.8%	15.4%

党首の魅力	12.3%	13.4%	11.0%
清潔なイメージ	12.0%	12.8%	11.0%
開かれた党運営	11.0%	8.7%	14.0%
中道的な姿勢	10.4%	13.4%	6.6%
保守的な姿勢	2.6%	1.7%	3.7%
その他	2.9%	4.7%	0.7%
なんとなく	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0.6%	1.2%	0.0%

問12 どちらかといえば親しみを感じたり、場合によっては支持・投票したい政党はありますか

	全体	男性	女性
民主党	38.1%	39.1%	37.4%
自民党	8.3%	10.1%	7.1%
共産党	6.0%	5.8%	6.1%
社民党	6.0%	8.7%	4.0%
公明党	0.6%	1.4%	0.0%
その他の政党	1.2%	0.0%	2.0%
そのような政党はない	39.9%	34.8%	43.4%
答えたくない	0.0%	0.0%	0.0%

問13 「支持政党なし(無党派)層」について、どのようにお考えですか(2つ以内)

	全体	男性	女性
政治・政党への不満、不信の現われ	65.3%	65.8%	64.7%
政治に対して無関心、無責任	32.0%	33.7%	30.2%
政党の努力次第で減っていく	28.7%	26.3%	31.1%
政治家中心の選挙が背景にある	23.4%	21.4%	25.5%
政治を不安定にさせている	11.5%	12.3%	10.6%
自由に1票を行使している	11.5%	11.5%	11.5%
棄権が多く投票率を下げる一因	10.5%	10.7%	10.2%
政治に関心の高い人が多い	5.6%	6.2%	5.1%
選挙での波乱要素	4.6%	6.2%	3.0%
その他	0.6%	0.4%	0.9%
なんともいえない・わからない	0.2%	0.0%	0.4%
不明	0.6%	0.8%	0.4%

問14 およそ1年前の支持政党を変えましたか

	全体	男性	女性
変えた	16.5%	16.0%	17.0%
変えていない	73.6%	75.7%	71.5%
はっきりしない	9.8%	8.2%	11.5%

問15 変わる前の支持政党はどうでしたか

	全体	男性	女性
自民党	43.0%	43.6%	42.5%
民主党	19.0%	17.9%	20.0%
共産党	7.6%	7.7%	7.5%
社民党	7.6%	10.3%	5.0%
自由党	2.5%	5.1%	0.0%
公明党	1.3%	2.6%	0.0%
保守新党	1.3%	0.0%	2.5%
その他の政党	0.0%	0.0%	0.0%
支持する政党はなかった	16.5%	12.8%	20.0%
答えたくない	0.0%	0.0%	0.0%
不明	1.3%	0.0%	2.5%

問 16 支持政党を変えたのは、どのようなことが主な理由になりましたか	全体	男性	女性
政党への期待感・イメージ	29.1%	25.6%	32.5%
党首への信頼感・指導力	22.8%	20.5%	25.0%
政策の内容・実現性	21.5%	23.1%	20.0%
政治全体に対する評価	16.5%	12.8%	20.0%
その他	6.3%	12.8%	0.0%
なんとなく・特に理由はない	0.0%	0.0%	0.0%
不明	3.8%	5.1%	2.5%

問 17 次の衆院選が行われる時期について、どう思いますか	全体	男性	女性
急ぐ必要はない	51.5%	48.6%	54.5%
早い方がよい	48.1%	51.4%	44.7%
なんともいえない・わからない	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0.4%	0.0%	0.9%

問 18 次の衆院選では、与党系・野党系のどちらの議席が増えてほしいですか	全体	男性	女性
与党系	21.1%	23.5%	18.7%
野党系	53.3%	59.3%	47.2%
なんともいえない・わからない	25.5%	17.3%	34.0%

問 19 自民党中心、民主党中心のどちらの政権がよいと思いますか	全体	男性	女性
自民党中心がよい	26.4%	26.7%	26.0%
民主党中心がよい	40.6%	46.9%	34.0%
どちらもよくない	32.6%	26.3%	39.1%

なんともいえない・わからない	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0.4%	0.0%	0.9%

問 20 「政治・政党の再編成」が今後行われることを期待しますか	全体	男性	女性
期待する	52.7%	55.6%	49.8%
期待しない	47.1%	44.4%	49.8%
なんともいえない・わからない	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0.2%	0.0%	0.4%

問 21 日本の将来を考えると、とくに心配したり不安に思うことがありますか（5つ以内）	全体	男性	女性
ふくれる財政赤字	46.9%	51.0%	42.6%
高齢化と少子化	46.2%	42.8%	49.8%
社会保障・福祉の水準低下	44.1%	43.2%	45.1%
犯罪の増加	42.3%	37.0%	47.7%
景気の行方	39.5%	39.1%	40.0%
官僚依存型の社会の体質	33.5%	32.9%	34.0%
雇用の不安	31.4%	32.5%	30.2%
国の安全保障	30.5%	29.2%	31.9%
政治の不安定・不信	29.3%	27.6%	31.1%
モラルの低下	28.5%	32.9%	23.8%
青少年の教育・育成	26.8%	28.8%	24.7%
地球環境・自然破壊	25.1%	17.3%	33.2%
経済の国際競争力の低下	23.2%	28.8%	17.4%
進まない行政改革	22.2%	26.3%	17.9%
食糧危機・低い自給率	15.1%	16.0%	14.0%
エネルギー不安	7.9%	8.6%	7.2%
特にない・わからない	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0.4%	0.0%	0.9%